

# 新春を迎えて

— 各会派の抱負 —

議会運営委員会を構成する会派の新年の抱負を掲載しています。各会派の構成については、最終面をご覧ください。

## 練馬の未来を築く区政改革を

練馬区議会自由民主党 (15人)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。区民の皆さまにとって素晴らしい年となることを、心よりご祈念申し上げます。また平素より、自由民主党に対し格段のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月に第4次安倍内閣が発足致しました。安倍総理は「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化というアベノミクス最大の壁に立ち向かっていく」と語り、この2つの大改革を断行することが不可欠とあらためて強調しました。アベノミクスを完遂するためには、経済最優先で改革あるのみです。実際に日経平均株価の上昇や、有効求人倍率の上昇など、効果が目に見える数字として表れてきております。

練馬区においても「区政改革計画」のもと、効果的な施策を展開しており、我が会派もさまざまな提言を続け、練馬区政を牽引しております。今年には区政改革計画における施策のさらなる充実をはかり、社会情勢の変化や新たな区民ニーズに対応するべく、みどりの風吹くまちビジョンの

次期アクションプランや個別計画の策定等をおこないます。①子ども子育ての総合的な支援②福祉・医療の充実③都市基盤整備④魅力のあるまちづくり⑤新たな区政の創造など、我が会派の政策・提言が随所に織り込まれています。

区民サービスの維持・向上を図るためには、持続可能な財政基盤を確立していかなばなりません。今後、少子高齢化の進行に伴い、福祉・医療、子育て支援など社会保障関係経費の増大が見込まれ、また公共施設の建て替えなどの膨大な財政需要も抱えており、厳しい財政運営を強いられるものと思われまます。事業の見直しや委託民営化、業務効率化、区職員の意識改革など継続しておこない、さらにはさまざまな地域課題解決のために、区民の皆さま自身にも、当事者意識を持って参加・協働いただくということも重要であります。

我が会派は練馬区の未来を築く区政改革に全力で取り組んで参ります。本年も自由民主党へのご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 住み続けたい魅力あふれる練馬へ

練馬区議会公明党 (12人)

新春を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。皆様には、日頃より公明党をご支援いただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、衆議院の解散総選挙やアメリカ新大統領就任をはじめ、国内外で大きな出来事がありました。また、練馬区においては、独立70周年のさまざまな記念行事が開催され、区民の皆様とともに祝賀いたしました。

そのような中、社会はますます複雑化し価値観も多様化することにより、さまざまな政治課題が山積しており、社会で支え合う仕組みの構築や将来の不安を取り除くための改革が強く求められております。

練馬区議会公明党は「現場第一主義」をモットーに、常に地域住民の声を丁寧を受け止め、その声を政治に届けるために全力で働いてまいりました。今後とも、住み続けた

いまち、魅力あふれる安心なまちづくりを進めるため、皆様の声をしっかりと受け止め、政策に反映させてまいります。中でも喫緊の課題として、保育所の待機児童解消のための

の取り組みや2025年問題を見据えた高齢者施設の整備、区民の皆様との命と健康を守るための病院の整備と新病院の誘致、さらには首都直下地震や集中豪雨等に備えた防災減災対策などさまざまな課題に全力で取り組んでまいります。

昨年は、議員の費用弁償の廃止を行い、身を斬る改革を先頭に立って進めてまいりました。さらに本年も、練馬区議会公明党は改革の先頭に立ち、取り組んでまいります。

今後多様な民意を的確に捉え、国会・都議会・区議会のネットワークで希望がゆきわたる練馬区の実現にまい進してまいります。本年も何卒、公明党への力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 共闘の力で区民と共に歩む区政に

日本共産党練馬区議団 (5人)

日頃からのご支援に心より感謝申し上げます。

昨年は、共謀罪法の強行など安倍政権による民主主義破壊が強まるもとで、市民と野党の共闘が困難を乗り越えながら進展しました。こうした市民の皆さんと力を合わせ、政治を変えるために力を尽くす決意です。

練馬区では財政難を理由に出張所が廃止され、さらに学校や身近な区立施設を統廃合する計画を進め区民サービスを低下させる一方で、費用のかかる都市計画道路は聖域扱いです。いま国が社会保障切り捨てを進める中、区民を守る防波堤としての区政が強く求められています。

私たちは憲法と平和を守り、福祉の増進を最優先にするとともに、どんな問題でも区民の声に耳を傾け、共に歩む区政となるよう取り組んでまいります。

## 参加と協働の前進に向けて

練馬区議会民進党・無所属クラブ (4人)

謹んで新春をお慶び申し上げます。

新たな年を迎え、本年が区民の皆さまにとって、幸多き年となるよう、心よりご祈念申し上げます。

昨年は、練馬区独立70周年を祝う、さまざまなイベントが開催され、区民の皆さまと共に喜びを分かち合う年となりました。

年も明け、71年目の新たなスタートです。さまざまな社会変化にも柔軟に対応ができる、強い練馬区を築き、区民の皆さまに「練馬区に住んで良かった」と感じていただくためにも、引き続き、区民参加と協働を基軸とした区政改革を推進してまいります。

## 多様性を尊重し自治するまち練馬を

生活者ネットワーク (3人)

昨年10月の衆議院選挙で改憲勢力が多数を占め、現実的になった憲法改定に危機感が増す中で新年を迎えました。私たちは毎月9日に「憲法9条をまもれ」の活動を続けています。暮らしの中で、憲法・平和・人権について対話する場をたくさん作っていく1年にしたいと思っております。

「非核都市練馬区宣言」をしている区は、核なき世界に向けて核兵器禁止条約の批准を強く国に求め、区民とともに地域から平和を築いていく時です。

少数者の声を受け止め、世代や性別、文化などの多様性を尊重し、自治するまち練馬をめざします。